

平戸まるごと 商売繁盛

平戸市では令和4年度に、市内の物産資源を域内外へ流通する収益で継続的に物産振興事業を行う組織を公募し、「平戸DMC」共同企業体(※)が選定されました。

平戸市地域商社

平戸市では令和4年度に、市内の物産資源を域内外へ流通する収益で継続的に物産振興事業を行う組織を公募し、「平戸DMC」共同企業体(※)が選定されました。

※▼代表構成員(二社)平戸観光協会 ▼構成員 日本航空(株)、(株)狼煙 地域商社として1次生産者、加工業者、流通業者と連携しさまざまな物産事業に取り組んでいます。 観光協会を主体とした組織が取り組むことで、観光事業と物産事業を連携した地域振興を図ることが期待できます。

平戸市地域商社の事業内容① 新商品開発

平戸市では、生産者の皆さんがたくさん素晴らしい商品を絶えず開発しています。地域商社では、消費者ニーズを生産現場と共有し、水産、農産、畜産、菓子類、調味料など幅広い分野で開発します。

漁協との共同開発



館浦漁業協同組合 ▲開発中のシイラのオイル漬け 9月下旬～11月にかけて旬を迎えるメスのシイラを「とよひめシイラ」として商標登録し、国内外への流通を強化しています。今回、地域商社と連携し、年間を通じて味わうことができるシイラ商品を開発します。

農業者との共同開発



ぜんかえん 善果園 代表 こんどう 近藤 しげお 重雄さん 2倍～3倍に薄めて飲む瓶詰め商品の夏香ジュースを、手軽に飲めるストレートタイプにしました。地域商社との共同開発で、製造、デザイン、販路など、それぞれのメリットを生かす形で取り組んでいます。

加工業者との共同開発



岩野上醤油醸造場 代表 岩野上 いわのうえ 康介さん 康介さん 「この味噌を使った、お湯を入れるだけで飲める味噌汁がほしい」という声から、フリーズドライ味噌汁を開発しました。地域商社との連携で、工場やレシピ開発、販路などのハードルをクリアできました。

飲食店との共同開発



磯かつ 代表 みやくに かずひこ 宮國 和彦さん 「アラ鍋セット」などお取り寄せセット商品を販売していますが、アレンジもでき、より手軽に味わうことができる「あごだしの鍋スープ」を、地元の実業者や地域商社と連携し開発しています。

ご当地パンの共同開発



パン工房サンロード平戸 店長 いのもと かずみ 井元 一美さん 木引田町商店街にあるパン屋です。障がい者雇用の場としても活躍しています。店舗販売に加え、移動販売車で、皆さんへパンをお届けしています。これからも、おいしいパン作りと商品開発を頑張ります。

ギフト商品開発



平戸酒の肴セット

「年末年始の贅沢 平戸の旨かもんで、至福のひと時を」をコンセプトとした内容で、地域商社の毎年恒例の商品として定着化を目指しています。

人気店とコラボ

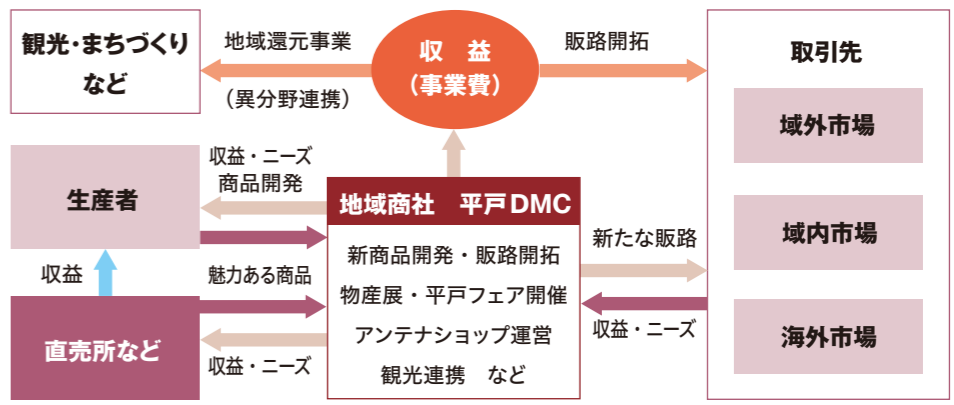


平戸パエリア

東京都麻布十番の人気店舗 METRO MARKET と開発した平戸パエリア。今後も、季節に合わせた商品を定期的に共同開発することとしています。

地域商社事業とは

地域に眠っている農産品や加工品など、魅力ある商品やサービスの販路を新たに開拓することで、従来以上の収益を引き出し、得られた知見や収益を生産者に還元する事業です。(内閣官房・内閣府総合サイトから引用)



Interview



(一社)平戸観光協会 会長 藤澤 美好さん

地域商社事業を平戸観光協会が担うことで、物産の販路を活かした情報発信、旅行商品造成など、新たな企画が生まれます。関係団体などと連携を密にし、地域活性化につながる取り組みを進めます。



日本航空(株)ソリューション営業推進部 部長 猿渡 美穂さん

「平戸DMC」共同企業体の構成員としてJALグループの経験・技術・ネットワークを有効活用し多様化する地域のニーズに対応します。また、平戸ブランドの構築に尽力し、地域振興に貢献してまいります。



(株)狼煙 代表取締役 鞍掛 育也さん

生産者の皆さんの協力のもと、地域商社として「物産と観光」を融合し、平戸の食の魅力を「旅マエ」「旅ナカ」「旅アト」時に多くの人に伝えることができるよう販路開発を積極的に行ってまいります。

平戸市地域商社の事業内容⑤

令和5年度から東京都に開設している平戸市アンテナショップの物販店舗と飲食店舗の2店舗を運営しています。

有楽町ひらど商館



「有楽町(にある)ひらど(の)商館」という店名にふさわしく、平戸オランダ商館をモチーフとしたデザインにリニューアルしました。

島の味処 平戸こね



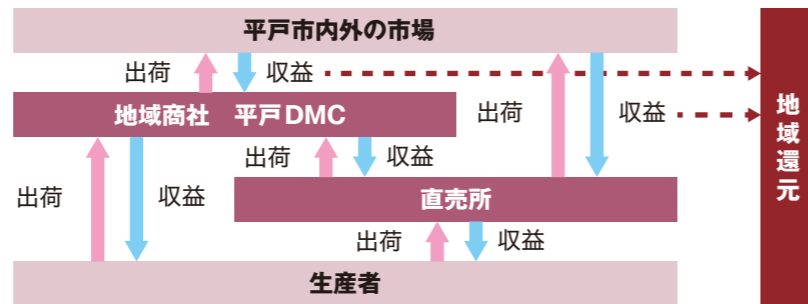
平戸にこね!(おいでよ)の思いを込めた店名「平戸こね」に変更し、メニューも旬の魚を活かした内容にリニューアルしました。魚が美味しいと大変好評です。

商社組織との連携

平戸市地域商社の事業内容⑥

全国の店舗へ平戸産品の出荷や、生産者と連携した新商品開発などに取り組む直売所も、いわば地域商社。

物産振興の中核組織が地域内で連携することで、人脈やニーズなどの販路開拓に必要な情報が共有され、幅広い相乗効果が期待できます。



平戸瀬戸市場協同組合

平戸瀬戸市場では、直売所や飲食店での販売に加え、全国の飲食店や平戸市アンテナショップへの平戸産品の出荷、生産者と連携した地域産品を高付加価値化する商品開発などにも取り組んでいます。



▲鮮魚ボックス内容 ▲京都吉兆とのコラボ商品

(株)ひらど新鮮市場

ひらど新鮮市場では、市外の飲食店や平戸市アンテナショップ、市内の学校給食、宿泊施設など、市内外へ平戸産品の取引を拡大しています。また、自社の加工場で地場産品を活かした商品作りにも取り組んでいます。



▲野菜ボックス内容 ▲平戸とらぶぐオイルコンフィ、あじのオイル漬

販路開拓

平戸市地域商社の事業内容②

新たな販路開拓のため、小売店や飲食店などとの関係構築、期間限定イベントや年間取引獲得に取り組んでいます。

福岡三越アンテナショップ(期間限定)



令和4年10月18日~12月30日まで開設し、焼きあごや蒲鉾など年末年始の食材が人気を集めました。

岩田屋本店アンテナショップ(期間限定)



「岩田屋本店」では、長期出店に取り組み、干物や菓子類などを販売しました。

平戸市地域商社の事業内容③

関西や福岡都市圏、県内外において平戸産品を販売する物産展を企画し、生産者とともにイベント出店しています。



▲西九州新幹線開業記念イベント



▲ながさき半島フェア



▲大阪市内平戸市物産展

物産展出店

平戸市地域商社の事業内容④

都市圏の店舗で、平戸の地名や素材のフェアを開催し、平戸産品の取引拡大とブランディングを図っています。

平戸フェア

音羽グループ「平戸ヒラマサフェア」

関西の人気寿司店「流れ鯨三代目おとわ」「回転江戸前すしとれとれ屋」6店舗で1カ月間の「平戸ヒラマサフェア」を開催しました。期間中、地元漁師の岩崎幸広さんの等身大パネルやチラシでPRした平戸のヒラマサはとても好評で、フェアは2カ月間延長されました。

フェア後には、年間を通じた取引の供給体制構築に取り組んでいます。

日本鮮魚・魚和水産での「平戸産鮮魚フェア」

関西で人気の鮮魚専門店でのフェアで、平戸鮮魚が高い評価を得ることができました。



▲平戸産ヒラマサの寿司フェア



▲岩崎幸広さんのパネル